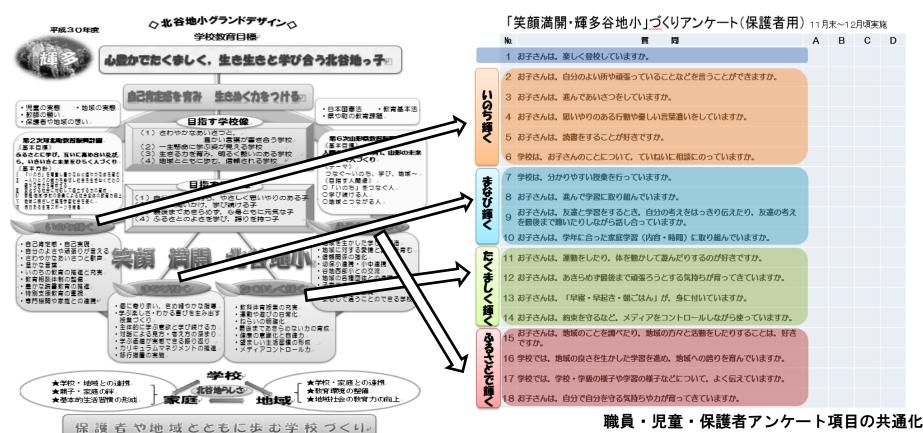
<実効性のある学校評価を工夫>

課題(1) 評価項目について 河北町立北谷地小学校の実践



| | No. | 安保者・児童 アンケル | 質問 | サ年度の重点との関 連:経営計画P9−10 |
|-------|-----|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| いのち輝く | 1 | | 一人ひとりに寄り添い、肯定的な言葉をかけて、自己肯定感を育み、自分のよいところや 頑張っていることを言えるよう取り組んでいる。 | いのち(1)-① |
| | 2 | 3 | さわやかなあいさつができるよう、指導や支援をしている。 | いのち(1)-② |
| | 3 | 4 | 思いやりのある行動や言葉違いができるよう指導している。 | いのち(1)-② |
| | 4 | | 教育活動の中で、いのちの教育を意識し、取り組んでいる。 | いのち(1)-③ |
| | 5 | 5 | 誘曲が好きな児童の育成に取り組んでいる。 | いのち(1)-⑤ |
| | 6 | 6 | 子どもたちや家庭からの相談には、連携しながら丁寧に対応している。 | いのち(1)-④ |
| | 7 | | 特別支援教育についての研修を深め、支援と指導法の工夫・改善を行っている。 | いのち(2)-① |
| まなび | 8 | 7 | きめ細やかな指導と分かりやすい授業を行っている。 | まなび(1)-① |
| | 9 | 8 | 子どもたちが、主体的に学習に取り組むよう工夫を行っている。 | まなび(1)-② |
| | 10 | 9 | 対話を通して、新しい見方や考え方が深まるよう工夫している。 | まなび(1)-② |

| | No. | 質問 | | |
|-------------|-----|------------------------------------------------------------|--|--|
| 全体 | 1 | 楽しく登校していますか。 | | |
| ls. | 2 | 自分のよい所やがんばっていることなどを言うことができますか。 | | |
| | 3 | 進んであいさつをしていますか。 | | |
| の ち 輝 | 4 | 思いやりのある行動や優しい言葉づかいをしていますか。 | | |
| 3 | 5 | 読書をすることが好きですか。 | | |
| | 6 | 先生方は,ていねいに相談にのってくれますか。 | | |
| | 7 | 授業は、分かりやすいですか。 | | |
| まなび輝く | 8 | 進んで学習に取り組んでいますか。 | | |
| | 9 | 友達と学習をするとき、自分の考えをはっきり伝えたり、友達の考えを最 後まで聞いたりしながら話し合っていますか。 | | |
| | 10 | 学年に合った家庭学習(内容・時間)に取り組んでいますか。 | | |

| | No. | 質問 | | |
|-------|-----|------------------------------------------------------------------|--|--|
| 全体 | 1 | お子さんは,楽しく登校していますか。 | | |
| | 2 | お子さんは、自分のよい所や頑張っていることなどを言うことができますか。 | | |
| いのち輝く | 3 | お子さんは,進んであいさつをしていますか。 | | |
| | 4 | お子さんは,思いやりのある行動や優しい言葉違いをしていますか。 | | |
| | 5 | お子さんは,読書をすることが好きですか。 | | |
| | 6 | 学校は、お子さんのことについて、ていねいに相談にのっていますか。 | | |
| | 7 | 学校は、分かりやすい授業を行っていますか。 | | |
| まな | 8 | お子さんは,進んで学習に取り組んでいますか。 | | |
| 輝く | 9 | お子さんは,友達と学習をするとき,自分の考えをはっきり伝えたり,友達の考えを最後 まで聞いたりしながら話し合っていますか。 | | |
| | 10 | お子さんは,学年に合った家庭学習(内容・時間)に取り組んでいますか。 | | |

<実効性のある学校評価を工夫>

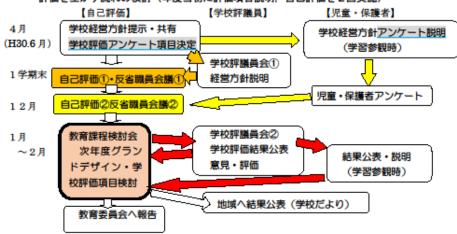
課題(2) 経営参加意識について

河北町立北谷地小学校の実践

| 共通理解の促進 | (学校評価項目を前年度末に検討・ | 年度初めに保護者へ説明) |
|---------|------------------|--------------|
| | | |

| | 共通理所(| の促進(字校評価項目を削年度末に | 東計・平度例のに保護者へ説明) |
|-----|-------|------------------|----------------------------------------|
| | 時期 | 取り組み | ●課題 ○改善点 |
| | | ■第1回職員会議 | ○前年度中に職員と練り合ったので、重点の |
| | 4/2 | 学校教育目標・経営方針・今年 | 共通理解がスムーズに意識化された。 |
| | | 度の重点事項の提示と説明 | |
| | | ■第1回授業参観・PTA 総会 | ○説明したことにより、今年度の重点項目の |
| | [] | 保護者に向け経営方針の説明と | 意識化とアンケートの意味付けが昨年より |
| - / | 4/28 | 重点項目に連動した項目でのアン | なされたと感じる。 |
| - 1 | | ケート実施を説明 | ●今年度の評価項目検討前のため、昨年度の |
| | | | ものを例示しての説明になった。 |
| - 1 | 6月 | ■アンケート項目の検討・決定 | ○評価項目を職員と見直すことで、学校運営 |
| | 071 | 定例職員会議で素案を提示し, | 参画意識を高めるとともに、今年度の重点 |
| | | 職員の考えを聞く。 | の再確認になる。 |
| | | | ●できれば4月の定例職員会議時に話題と |
| H31 | は、前年度 | から準備。4月中に行いたい。 | し、PTA総会(保護者への説明)より前に |
| | | | 決定したい。 |
| | | | |
| | 1 学期末 | ■職員評価実施・反省職員会議 | |
| | | ■職員自己評価実施 | |
| | 12月 | 児童・保護者アンケート実施 | |
| | 12/1 | ■アンケート結果分析 | |
| | | 職員検討会(反省職員会議内) | |
| | | ■次年度教育課程検討会 | ○学校評価及び反省職員会議の結果を受け、 |
| | | ■学校評議員への公表・説明 | 育みたい資質・能力を職員間で共有し合い。 |
| | 1~2月 | | 教育課程検討会の中で、次年度のグランド |
| | | ■保護者へ公表・説明 | <u>デザイン・アンケート項目を検討する。</u> |
| | | ■地域へ公表 | |

評価を生かす流れの検討(年度当初に評価項目説明、自己評価を2回実施)



<実効性のある学校評価を工夫>

課題(4) 評価の効果に関わって



河北町立谷地西部小学校 学校関係者評価委員の皆さんへ



学校関係者評価委員への参加にあたって

それぞれのお立場から、委員会にご参加ください!

- ○学校に身近な関係者としての皆さんのご意見を必要としています。
- ○学校の仕組み、学校評価の方法などわからないことがあれば、どんなことでも学校に納得がいくまでご 質問ください。皆さんの質問が、学校の振り返りの機会になります。

学校の応援団となってください!

- ○学校関係者評価委員の役割は、学校に点数を付けたり、格付けをすることではありません。
- 学校に通う子どもたちのためになる、よりよい学校をつくるためのアドバイスをお願いします。
- ○学校に対する理解や納得を深め、よりよい学校づくりに積極的にご参加ください。

学校関係者評価について

「学校関係者評価」とは、皆さんが、教職員が実施する「自己評価」の結果について評価すること を基本とします

教職員による評価

西部小の経営方針掲げられた重点目標に ついて、教職員が保護者や子どもの声を参考 にして、どこまでできたかを評価するもので す。

学関係者評価委員による評価

学校の授業や行事の参観、意見交換などを 通して、自己評価が適切であるかどうかを評 価します。

この評価活動を通して、よりよい学校にす るための応援団になってください。

学校関係者評価委員の1年間の流れについて

●委員としての活動内容や評価方法の説明 学校評価の趣旨説明 4月 スクールアドバイザーへの着任 | ●学校経営方針の説明 6月 第1回SA会議・授業参観 重点目標及び具体的取組の説明 6月~ 学校行事の参観等 取組状況の説明 8月 第1回自己評価結果の公表 ●第1回自己評価の結果についての評価 ●重点目標見直しについての説明 8月~ 学校行事の参観等 1月 第2回自己評価結果の公表 ●第2回自己評価結果についての評価 1月 第2回SA会議·授業参観 ●改善方策についての評価と次年度に向け ●学校関係者評価のまとめ

河北町立谷地西部小学校 西川町立西川小学校 の実践

平成29年度 西川小学校の学校評価[学校関係者評価アンケート]

【学校教育目標・経営キーワード】 大地に根をおろし 大空に向かって ブナのように 伸びる子ども = 手をつないで、一歩ふみ出そう =

「学校運営協議会」や「学校行事」等での子ども達の様子、「西川小だより」、「西川小ホームページ」 等を参考に、本校の教育活動について評価をお願いいたします。

◆評価は、4~1までの評価点でご記入ください。

(4=よくあてはまる 3=おおまわあてはまる 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない)

| 設問 | 評価 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1 学校は、学校経営方針や教育活動をよく伝えている。 (学校だより、授業参観での懇談会、西川小ほっとめーる(オクレンシャー)、西川小本・が 等) | |
| 2 学校は、地域の特性を生かした特色ある教育活動を行っている。 (ふるさと楽行、総合的な学習の時間、自然体験学習、読書活動、本の読み語り、カヌー数室、スキー数室、 音楽活動、青い黒板賞、保育園訪問、緑の少年団、野菜づくり、米づくり学習、だんごさし等) | |
| 3 学校は、一人一人を大切にした教育活動と授業を行っている。 (学年・学校行事、縦割り班給食・そうじ、学び合う授業、基本的な学力、発表・表現力の育成、 特別支援教育、ハロータイム(外国語活動)等) | |
| 4 子ども達は、仲良く、楽しい学校生活を送っている。 (学校行事、授業参観、家庭訪問、懇談会、PTA 行事、子どもとの会話等) | |
| 5 学校は、子ども達の体力の向上や健康な体づくりのための取り組みをしている。 (体育の授業、運動会・持久走記録会、水泳記録会、カヌー数室、スキー教室・スキー記録会、 保健・食管指導、外遊びの奨励、チャレンジマラソン,メディアコントロール等) | |
| 6 子ども達は、元気にあいさつができる。 (家や地域でのあいさつ、学校内のあいさつ、あいさつ運動等) | |
| 7 学校は、地域や保護者と連携レ信頼される学校づくりを進めている (学校行事、校外学習、総合的な学習の時間、PTA活動、小中連携によるあいさつ運動、学級の連絡帳、 電話の対応や接待、各種通信等) | - |
| 8 学校は、学校や通学路における子ども達の安全確保に努めている。 (バス通学・通学路の安全管理・安全指導、火災・地震時の避難訓練、Jアラート対応訓練等) | |
| 9 学校は、いしめのない学校づくりに努めている。 | |

《今年度の学校経営について》

黄職から見た本校の「教育活動」や「PTA活動」等でよかったと思うこと、次年度への要望などありましたらご自由にお書きください(欄が不足の場合は、裏面もお使いください)。

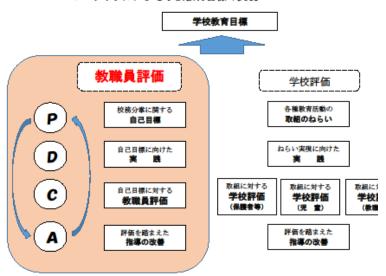
ご芳名

<自主的・自律的な教職員評価>

課題(1) 職務遂行意欲について

寒河江市立寒河江小学校の実践

1 PDCAサイクルによる学校教育目標の実現



2 教職員評価のねらい (省略)

3 本校の教職員評価の工夫改善

(1)経営の重点を踏まえた「自己目標の設定」

本校では、4つの経営の重点「学び」「心」「体」「連携」に沿って、「具体化のため な方策」を示しています。また、今年度は、4つの重点を踏まえた運営組織に再編す 夫も行いました。そのため、各自が担っている校務分掌は、これらの「具体化のため な方策」に、密接に関連するものとなります。

したがって、次のような流れが可能となります。

「具体化のための主な方策」を踏まえて、教職員評価の自己目標を設定すれば

学校教育目標につながる自己目標になる 学校教育目標を実現することになる

【学校教育目標】 ともに学び ともに輝き ともに高まる子ども

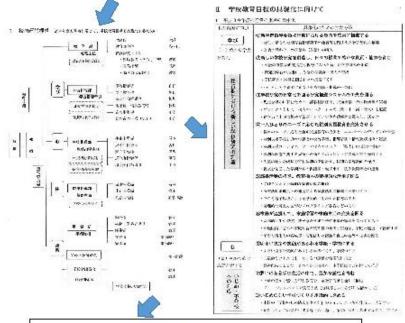
<本年度の『経営の重点』>

1 確かな学力を育む

豊かな心を育む

2 健康で逞しい身体を育む

- ◆移行類における新しい学校研究の創造
- ◆いじめ・不登校への対応 ◆自ら高める健康づくり
- 家庭や地域とともにある学校づくり ◆家庭教育の充実と連携



(教職員評価との連動)

※教職員評価の自己目標の設定に当たっては、次の点に留意する

○それぞれの「校務分掌」と「具体化のための主な方策」との関連から自己目標を設 定し、それぞれの取組みが具体的に学校教育目標の実現に結び付くようにする。

(2)「自己目標の設定」に際して留意したいこと

- → 子どもの姿で示すと評価がしやすい ○ゴールの姿
- ○達成基準 → 必ずしも数値目標でなくともよいですが…
- ○手段、方法 → これがないと、目標がお類目になりがち ○達成期間 → この期間でやること、次の期間でやることを明確にして

4 の

く自主的・自律的な教職員評価>

課題(2) 自己目標について

寒河江市立南部小学校の実践

教職員評価

業績評価における自己目標の設定

- 1 自己目標の前提条件
- (1) 組織目標の達成、業績貢献につながるもの
- (2) 担当業務の主要部分をカバーし、役割を反映したものであること
- (3) 担当者自らが立案し、チャレンジ性があること
- (4) 目標・業務プロセスが具体的であること

2 自己目標の明確化

何が問題なのか、それをどう変えようとしているのか、汲み取れる内容に。 【不明確な表現】

「~したい」「~を努力する」「~を図る」「~を強化する」「~を徹底する」「~を展開す」「~を削減する」「~を促進する」「~を向上させる」「適切に~」「有効に~」「タイムリーに~」「~の効率化」「~の見直し」「~のシステム化」「~の改善」「~の確立」「~の防止」「~の横筌」「~の増強」

以上、平成29年度山形県「第1回評価者研修会」資料より

| 曖昧な表現 | 改善例 |
|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 「努力する」「努める」「徹底する」「目指す」 など、がんばることが目標となっている。 | 〜まで達成する。 〜を実現する。 「努力した」「徹底した」結果どうなるか を記述する。 |
| 「助言する」「協力する」「支援する」など、 目標達成の主体が他者になっている。(他力 本願になりがち) | ~を実施し、~を達成する。 自分自身が何を実施するか記述し、その結 果どういう状態になるかを記述する。 |
| 「具体化する」「円滑化する」「効率化する」 「推進する」「検討する」など、何をもって 達成と捉えるのかが漠然としている表現 | |
| 「~や~」「~したり、~したり」「等」「など」など、行動の範囲がぼやけている表現 | 〜と〜、〜を完了する。 できるかぎり具体的に列挙する。(評価範 囲を絞る。) |
| 「できるだけ」「可能な限り」「極力」「必要 に応じて」「積極的に」など、どれだけでき ればよいのかが不明瞭な表現 | ~を~まで達成する。 達成水準を明確にする。 |

以上、平成28年度埼玉県「教職員評価システムの手引き」を一部加筆・変更

3 達成水準(評価基準)を明確にしておく

どこまでできればc評価(目標をおおむね達成した)とするのか、自分自身がその基準をもつことは、客観性、公正性、納得性を確保する上で大事なことである。

留意したいのは、その水準を引き下げないこと。ここで引き下げを行えば、目標自体が 意味をなさなくなってしまう。

例えば、ある教科のテストの成績に、その目標達成の姿を求める場合を取り上げてみる と、AとBでは下のような達成水準の違いがあった。

| Α | | |
|---|------------------------------|--|
| a | 単元末評価テストの平均が 95点以上 | |
| b | 単元末評価テストの平均が 90点以上95点未満 | |
| O | 単元末評価テストの平均が 7 0点以上9 0点未満 | |
| d | 単元末評価テストの平均が 40点以上70点未満 | |
| 0 | 単元末評価テストの平均が 40点未満 | |

| | В | | |
|---|----------------------------|--|--|
| а | 単元末評価テストの平均が 95点以上 | | |
| b | 単元末評価テストの平均が 90点以上95点未満 | | |
| O | 単元末評価テストの平均が 80点以上90点未満 | | |
| d | 単元末評価テストの平均が 60点以上80点未満 | | |
| Ф | 単元末評価テストの平均が 60点未満 | | |

明らかにAの方が、自分自身に対する評価が寛容と言える。

もしかしたら、がんばってもがんばらなくてもC評価は簡単に達成できるかもしれない。 これに対してBは、一定の厳しさをもっていると言えるのではないか。目標として取り 組むなら、Bの意識で臨みたいものだと思う。

く自主的・自律的な教職員評価>

課題(2) 自己目標について

寒河江市立南部小学校の実践

<目標設定の具体例から>

〇目標 ・手だて *評価基準

【学習指導】

- ○読解力育成のために、国語科「読むこと」の授業で、文と文章に関する 指導を必ず行う。
- ・主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示語と接続語の役割、段 落の役割の指導を、「読むこと」の授業で毎回5分間取り扱う。
- *子どもたちは、主述の整った文章を書いている。
- *文章を読んで分かったことや考えたことを話し合う活動と、文章にまと める活動が好きと答える子どもたちが9割いる。
- ➡本校の大きな課題は学力育成です。その中核となっているのが思考力だと考えます。計算や漢字の書き取りは大切なことに違いありませんが、大改革につながりません。「市教研・陵南学区小中懇談会の各学年で共通に取り組む」内容と重複してもいいですから、この思考力育成に大きく寄与するであろう手立てを盛り込みたいですね。

【生徒指導】

- ○居心地のいい学校生活が送れるよう、子どものそばに寄り添い、一人一人 の存在を認める。
- ・中間休みと昼休みの時間は子どもたちと一緒に過ごし、一人一人の関心事と課題をつかみ、言葉かけをする。
- ・帰りの会で、「できた」「うれしかった」ことを発表させ、子どもの心を満たす。
- *子どもたちは、クラスメイトに「ありがとう」「いいね」を伝え、気持ちのいいあいさつを交わす。

【学校運営】

- ○日常性に軸足を置いた校内研究とするために、相互参観を進め研究便りを 発行する。
- ・週予定表に参観授業を位置づけ、各学級の学び方のよさと改善の工夫を伝える。
- ・授業研究で明らかになった成果と課題を整理して、次の授業研究で取り組んでほしいことをはっきりと伝える。
- *魅力的な課題や教材など、職員室では授業づくりの話が毎日続く。

【特別活動】

- ○自分たちで創り上げる児童会活動にするために、生活や子どもの問題を子 どもと共に考え、子ども自身の創意工夫を引き出す。
- ・各学級から出された問題に対してよりよい対策が出されるよう、事前に議 案に目を通し、何が根本的な問題で何がポイントになるのか着眼点を押さ え、話し合いに臨む。(代表委員会で)
- よりよいアイディアで行事や集会が実施されるよう、成果と課題を明確に した過去の記録を提示し参考とさせる。
- * 話し合いが活発に行われ、前年度実施の同種活動に創意工夫が加わる。
- ⇒教育目標または重点に関わる自己目標にするということは、そこで使用されている語句そのものや同義語、関連性の強い語句を用いて表すということです。事は教育の場ですから、どんな目標を設定しても何らかの形で関係すると思われますが、教育目標と重点と、どうかがっぷり四つに組んでみてください。

<自主的・自律的な教職員評価>

課題(2) 自己目標について 寒河江市立高松小学校の実践

教員評価目標設定時の配慮事項【業績評価】

◆各職務分類について、自己目標(O)1つ(場合によっては2つ)とその目標を達成するため の具体策(・)を2~3個程度掲げる。

〈例〉

学級の子どもの学習の在り方を学校目標・学級目標、さらには、 学校評価項目に照らして設定する。

粉論

| 3×081 | | | |
|-------|-----------------------------------------------------|--|--|
| 職務分類 | 自己目標 | | |
| 学習指導 | 〇子ともが「わかる・できる」「楽しい」授業にする。 | | |
| | ・子ども同士の学び合いを中心に据えた 45 分を心がけ、1 単位時 | | |
| | 間の中で必ずみんなの声が聞かれる授業にする。 | | |
| | ・習得評価点を90点とし、到達できるまで丁寧に個別指導する。 | | |
| | | | |
| 生徒指導 | ○学級全員の子が、「学校生活が楽しい」といえる学級をつくる。 | | |
| | ・1日1回は必ず生活の中で1人1人の子と会話する。 | | |
| 進路指導 | ・お便り、連絡帳を通して保護者との連携を密にし、子どもの変化 | | |
| | をしっかり見とり、問題発生時にはすぐに対応する。 | | |
| | | | |
| 学校運営 | 日分の校務分掌からどれが を取り上げ、学校目標、学 校評価項目に照らして設定 する。 | | |
| | | | |

◆自己目標作成時の配慮事項

- 学校教育目標、学級目標、学校評価項目に照らし、関連付けて目標設定する。
- 職務分類「学校運営」については、自分の分掌から、達成目標、取り組みに迫る自己目標を設 定する。
- 数値目標ということだけにこだわらなくとも、学校評価項目に挙げてある内容であれば、学校 評価時にも自己目標の達成度がわかるという考えもある。
- 様々なものを取り上げすぎない。特に、校務分掌は複数の部にまたがっている場 合があるので、それらすべてでなく、その中から一つを取り上げる考えで。
- 難易度の高い目標については、○を記入する。
- □自己目標設定の際に考慮すべき事項

■学校教育目標とその重点事項

《学校教育目標》

- 心豊かにたくましく 夢に向かって努力する子ども
 - ~柔軟な思考(知)・しなやかな心(徳)・チャレンジ精神(体)
 - 〈知〉柔軟な思考で、学びを自分のものにできる子ども
 - 〈徳〉自他を思う心を持ち、社会を生き抜くしなやかな心をもった子ども
 - 〈体〉夢に向かい、あきらめず挑戦し続ける子ども

<自主的・自律的な教職員評価>

課題(3)

業務量に関わって河北町立北谷地小学校の実践

教職員評価 <手立て>

- 前年度から、学校グランドデザイン設定に教職員との共有化を図った。
- ② 業績評価目標設定に当たって、ポイントを絞って説明を行った。
- ③ 面談時、教職員の想いに耳を傾け、言葉を引き出すよう心掛けた。

| 取り組み | ●課題 ○改善点 |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ■第1回職員会議 | O前年度中に、今年度のグランドデザイン設 |
| 学校教育目標・経営方針・今年 | 定の共有化を図った。(2学期反省職員会 |
| 度の重点事項の提示と説明 | 議、12月自己評価、学校研究反省、学校関 |
| | 係者評価を受けてのアンケート、H29 年度 3 |
| | 学期職員会議での提示) |
| | |
| ■5月定例職員会議 | ○業績評価設定に当たっては、①学校教育目 |
| 人事評価制度と業績評価目標設 | 標、重点等とつなげる②いつ・どの程度③具 |
| 定についての説明 | 体的に自分が何をどうするかの3点を、よ |
| (新採養護教諭・再任用・講師そ | り明確するよう強調して説明した。 |
| れぞれの評価確認) | ●形式・説明資料等をより早く受け取りたい。 |
| | (目標作成する時期が遅くなる。) |
| | |
| ■第1回面談 流れ | 〇上記3点を中心に確認。不明・不足部分につ |
| ①業績シートの提出(教頭) | いては、本人の言葉から引き出すようにし、 |
| ②教頭との打ち合わせ | やる気につながるよう心掛けた。 |
| ・ 進め方、目標吟味 | 〇前年度より抽象的な言葉が少なくなり、具 |
| ③面談 | 体的になってきた。 |
| 教職員が目標を設定した | ○学校目標との連動を説明する職員が多くな |
| 想いとねらいを受け止めて | った。 |
| 助言。支援と期待を伝える。 | ●教頭との打ち合わせを十分行う必要があ |
| ④再考したシートの提出(教頭) | る。(助言のスタンス、指導ポイントなど、 |
| 相談等教頭中心 | 同一歩調でできるように。) |
| | ■第1回職員会議 学校教育目標・経営方針・今年 度の重点事項の提示と説明 ■5月定例職員会議 人事評価制度と業績評価目標設 定についでである。 (新探養護知論・再任用・講師それぞれの評価確認) ■第1回面談 流れ ①業額更との打ち合し、 進め方、目標吟味 ③面談 ・ 数職員が目標を設定した。 想いとねらいを受け止える。 (4再考したシートの提出(教頭) |

<評価方法>

- 原則的に毎日1回校内巡回。担任外についても視点を意識し て観察する。
- 頑張っていること、気になること双方を見取る。(見方が偏 らないようにする。)
- ・ 記録簿への記入評価シート(コピー)の活用
 - …… ①各項目の横に手書きで日付、事実、評価を記入。 ②ワードで作成し、記入。
- 人事評価の留意点・評価規準を記録簿に貼り、意識化を図 っている。